

# 第1回 博多と福岡を結ぶ 国体道路の空間利活用検討会

## 国体道路の空間再配分検討

～目次～

1. 取り巻く地域状況
2. 交通状況・課題
3. 国体道路の自動車空間、歩行者空間の課題まとめ
4. 今後の空間再編の検討方針(案)
5. 意向調査、交通実態調査項目と内容

平成31年 3月25日

# 1. 取り巻く地域状況 (1) 周辺地域の現状

- 福岡市の人口は神戸市を抜き、**全国の政令指定都市で5位**(152.6万人)。
- ここ10年で福岡市への空港・港湾からの**外国人入国者数は約4倍**、**観光入込客数は約1.2倍**(約4百万人増)と著しく増加。
- 博多・天神方面を最短で結ぶ**国体道路沿道は、観光集客を牽引する商業施設が集積しており来訪客が集中。**

**国体道路は、都心に集中する人を回遊させる福岡市の顔となる重要な軸**

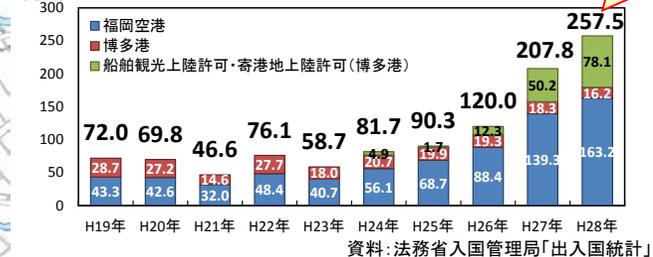


## ●福岡市の人口



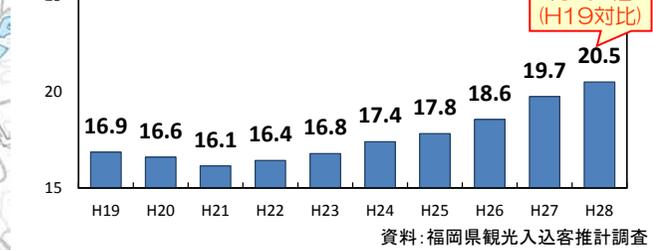
資料:福岡市統計住民基本台帳

## ▼福岡市における外国人入国者数の推移



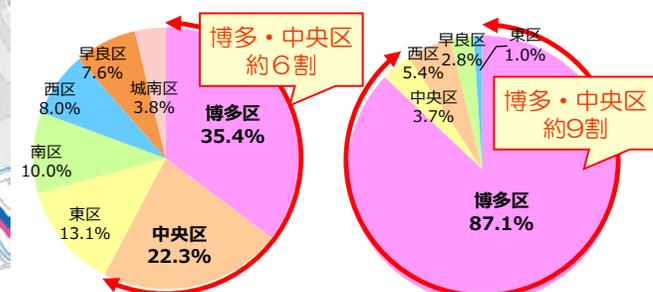
資料:法務省入国管理局「入国統計」

## ▼福岡市の観光入込客数



資料:福岡県観光入込客推計調査

## ▼商店(小売・卸)数



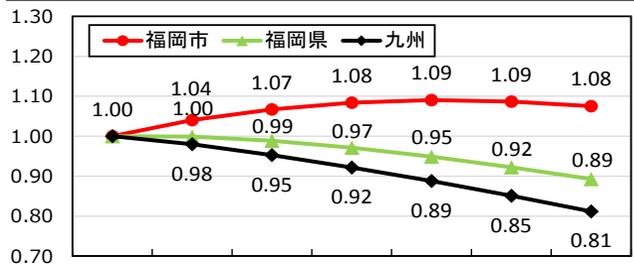
資料:H28経済センサス

※市内観光施設入込客数トップ10を集計  
資料:福岡県観光入込客推計調査

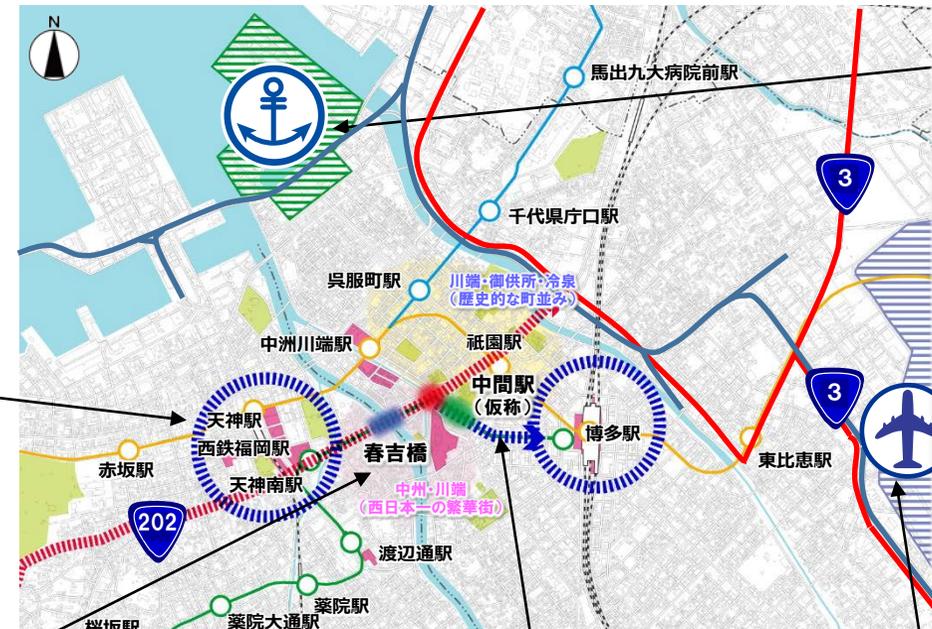
※年間値を日平均へ換算

# 1. 取り巻く地域状況 (2) 周辺の取組み事業

- 全国的な人口減少を迎える中、**福岡市の人口は増加し、更なる都市の賑わいや活力向上が予想される。**
- その中で、天神地区において規制緩和等によって**ビルの建て替えを促し、新たな空間と雇用を創出するプロジェクト「天神ビッグバン」**が進行中。
- また、博多と天神を結ぶ道路空間は、**地下鉄七隈線延伸事業**や**はかた駅前通りの再整備事業**、**春吉橋架け替え事業**を実施中。
- 更に、福岡の玄関口となる**福岡空港の機能強化**や**ウォーターフロントの再整備**など、交流人口増加に向けた多様な都市の基盤づくりが進行中。



H27 H32 H37 H42 H47 H52 H57  
▲福岡市の将来人口の伸び 資料: 将来人口推計

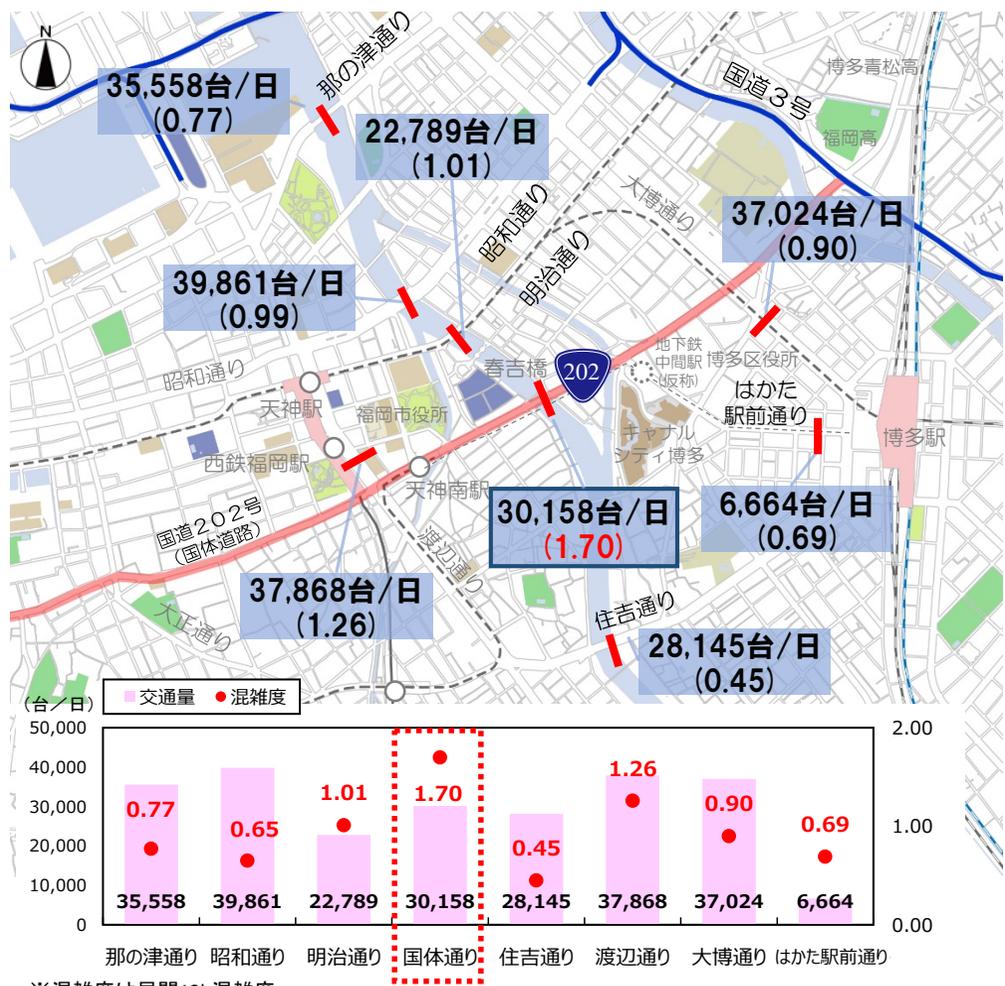


# 2. 交通現況・課題 (1) 周辺道路の自動車交通現況

## ① 自動車交通量、車道部幅員

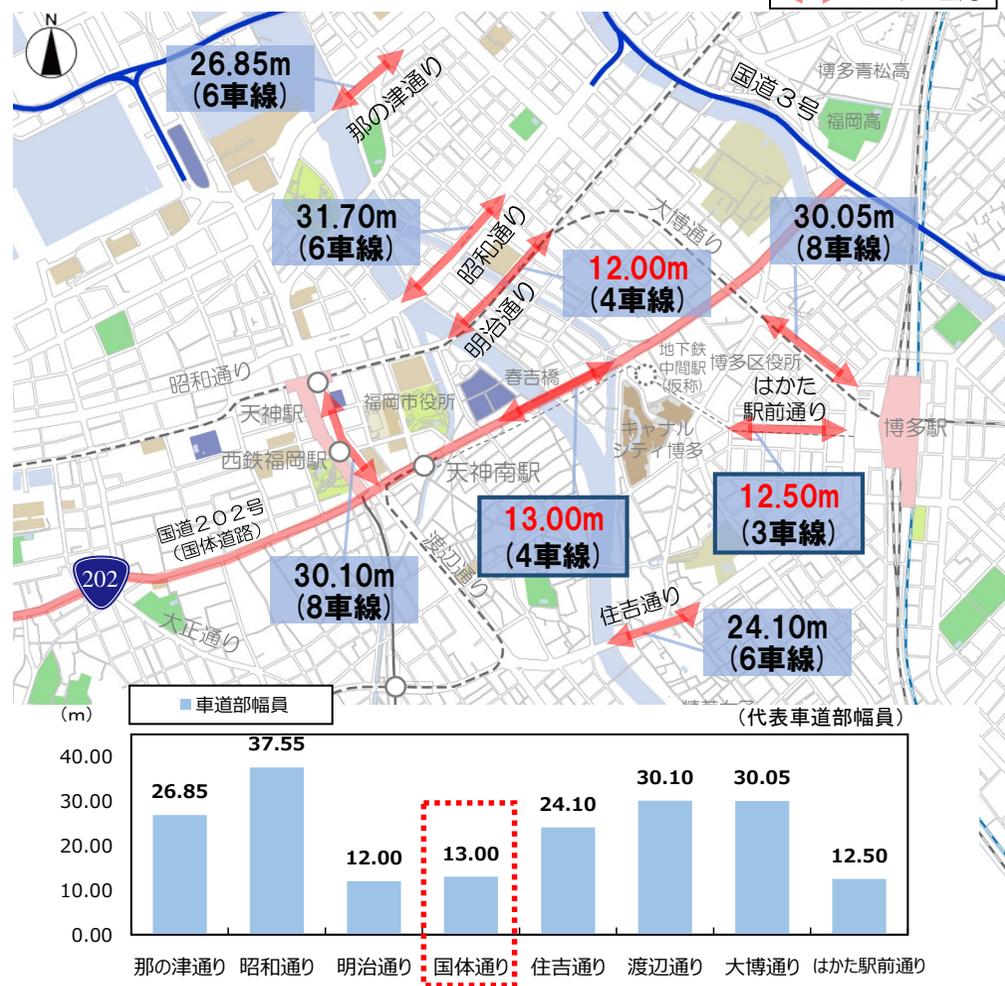
- 都心部の幹線道路の交通量は、約3~4万台/日が利用。特に、**国体道路の混雑度は1.70**と周辺道路の中でも著しく高い。
- 車道部の幅員は、都心部の幹線道路の中でも**国体道路、明治通りが12.0~13.0m**と狭い。

### 自動車交通量



▲周辺道路の交通量・混雑度 出典：全国道路・街路交通情勢調査H27

### 車道部幅員・車線数



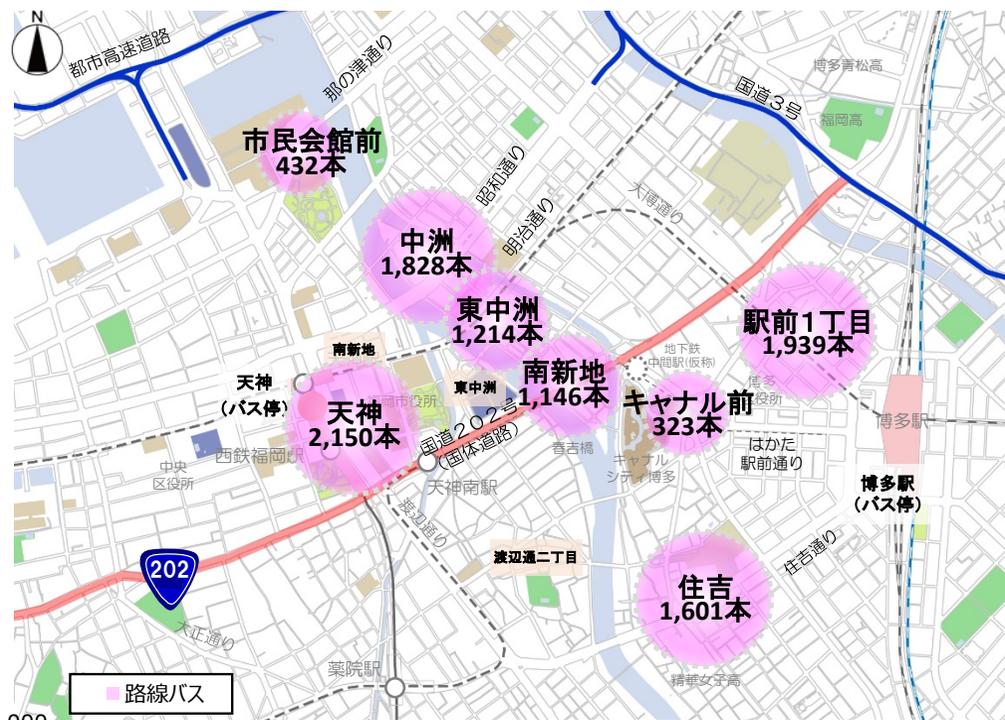
▲周辺道路の車道部幅員・車線数 出典：全国道路・街路交通情勢調査H27

# 2. 交通現況・課題 (1) 周辺道路の自動車交通現況

## ② バス本数

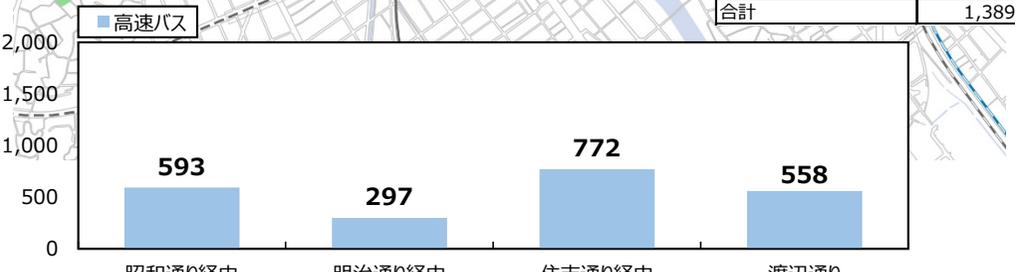
- 路線バスは、渡辺通、大博通、昭和通りなどが多いが、**国道道路も1千台を超えて運行。**
- 高速バスは、**住吉通り～渡辺通を経由した天神、博多バスターミナルから各地へ発着している高速バスが全体の約6割(772本)**と多い。

### 路線バス



▲周辺道路の路線バス本数 出典: 西鉄バス時刻表H31.3.改定後

### 高速バス



▲周辺道路の高速バス本数 出典: 各社高速バスHP H31

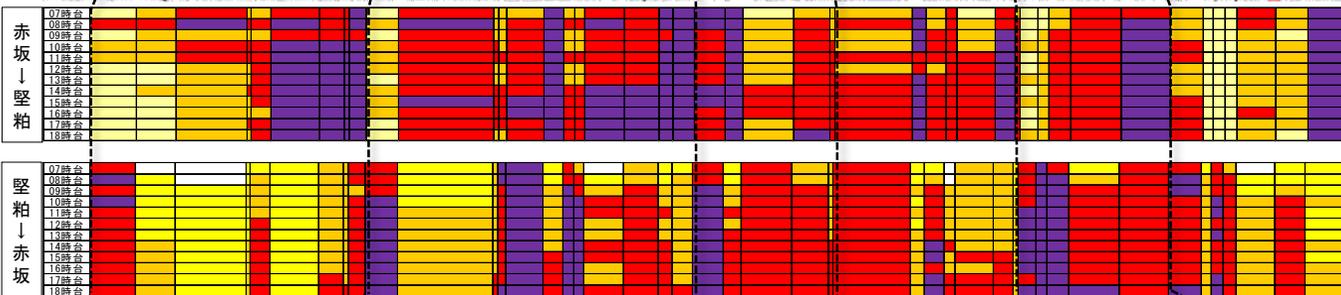
ルート	便数
博多BT～天神BT経由	772
天神BT発着	437
福岡空港発着	180
合計	1,389

# 2. 交通現況・課題 (2) 国体道路の自動車交通現況

## ① 国体道路の自動車交通の課題

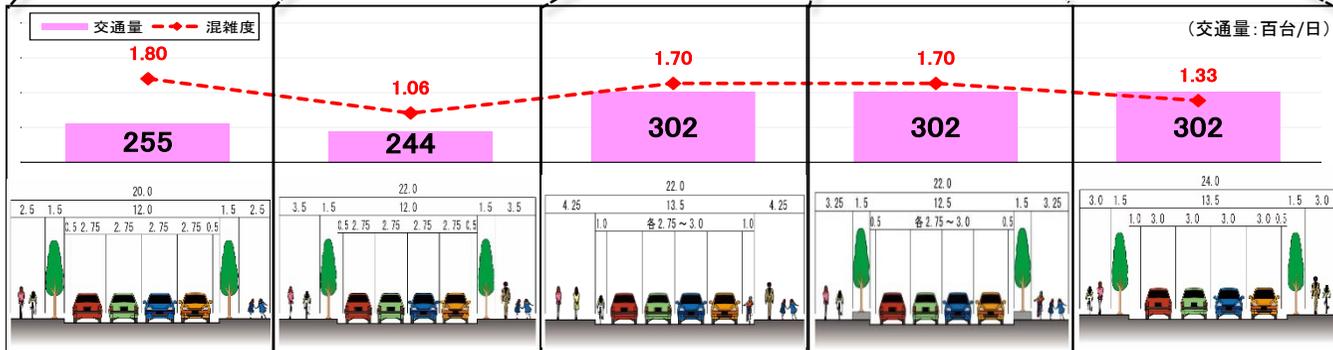
- 警固交差点から渡辺通4丁目交差点間は、平均旅行速度が10km/h未満であるなど、慢性的に渋滞が発生。
- 幅員が狭い国体道路に約240~310百台の交通が集中し、混雑度は赤坂~警固で1.8、渡辺通4~祇園町西1.7と高い。
- 更に、死傷事故率は祇園町~赤坂3までの主要交差点11箇所中、300件/億台キロ以上が9箇所存在し、安全性の低い区間が集中。

渋滞  
（旅行速度）



資料：プローブデータH29

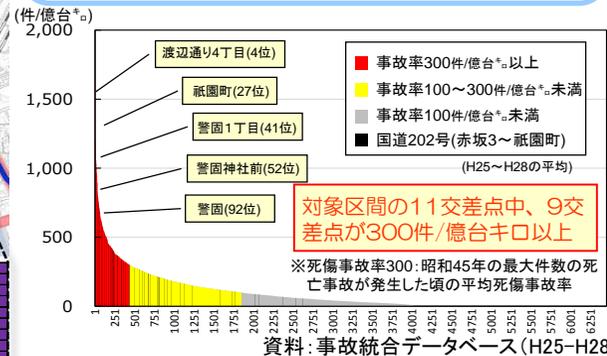
交通量・道路構成



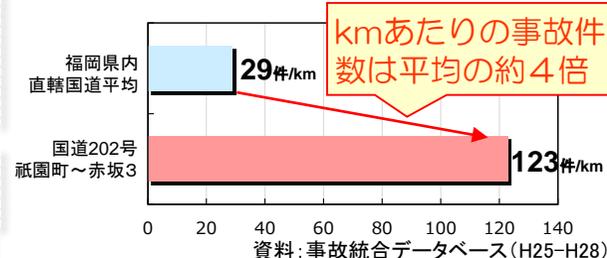
※混雑度は昼間12h混雑度

出典：全国道路・街路交通情勢調査H27

### ● 死傷事故率



### ● kmあたり事故発生件数

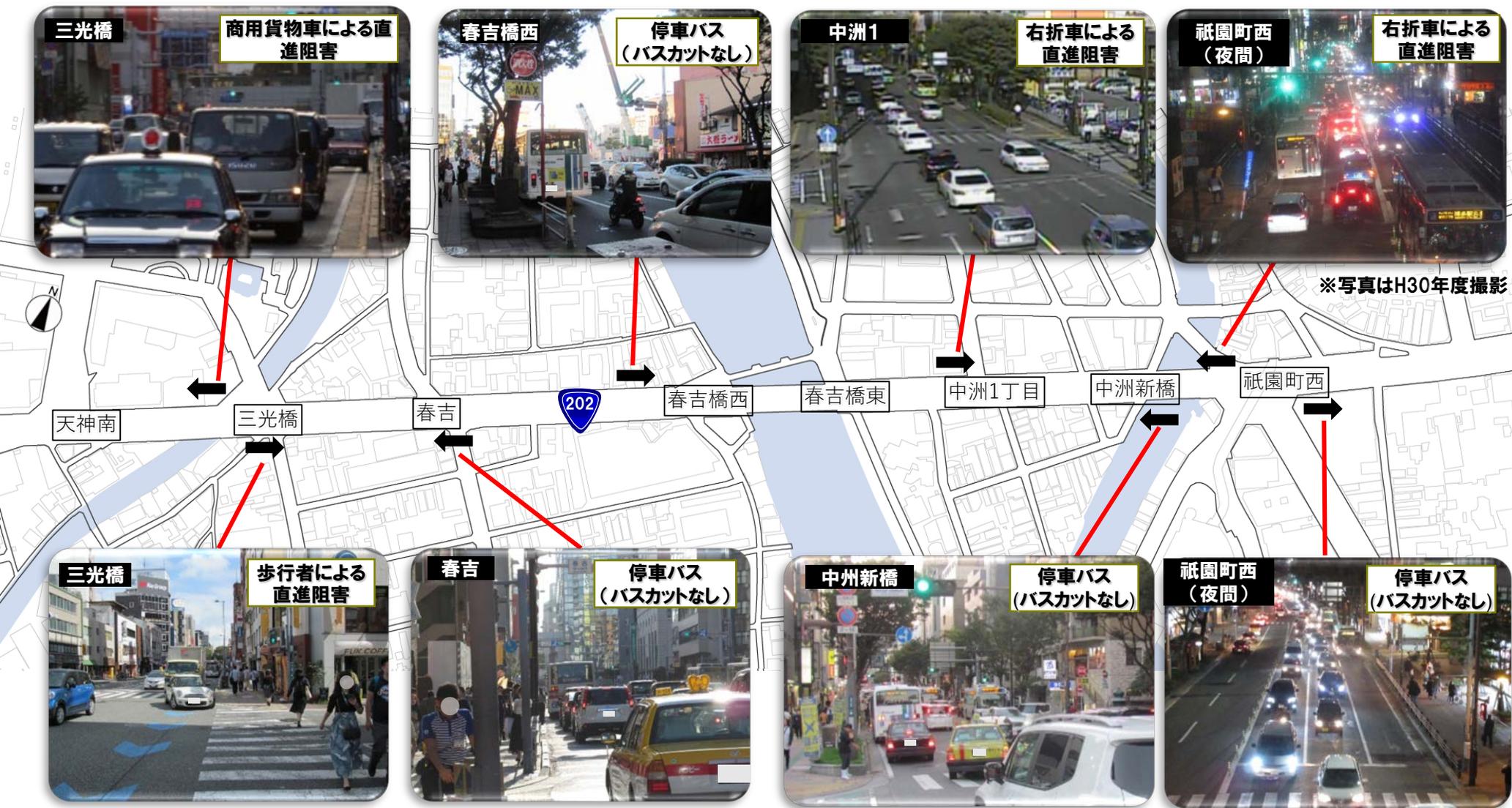


▲ 国体道路の渋滞状況

## 2. 交通現況・課題 (2) 国体道路の自動車交通現況

### ② 国体道路の交通状況〔祇園町西～天神南〕 優先検討区間

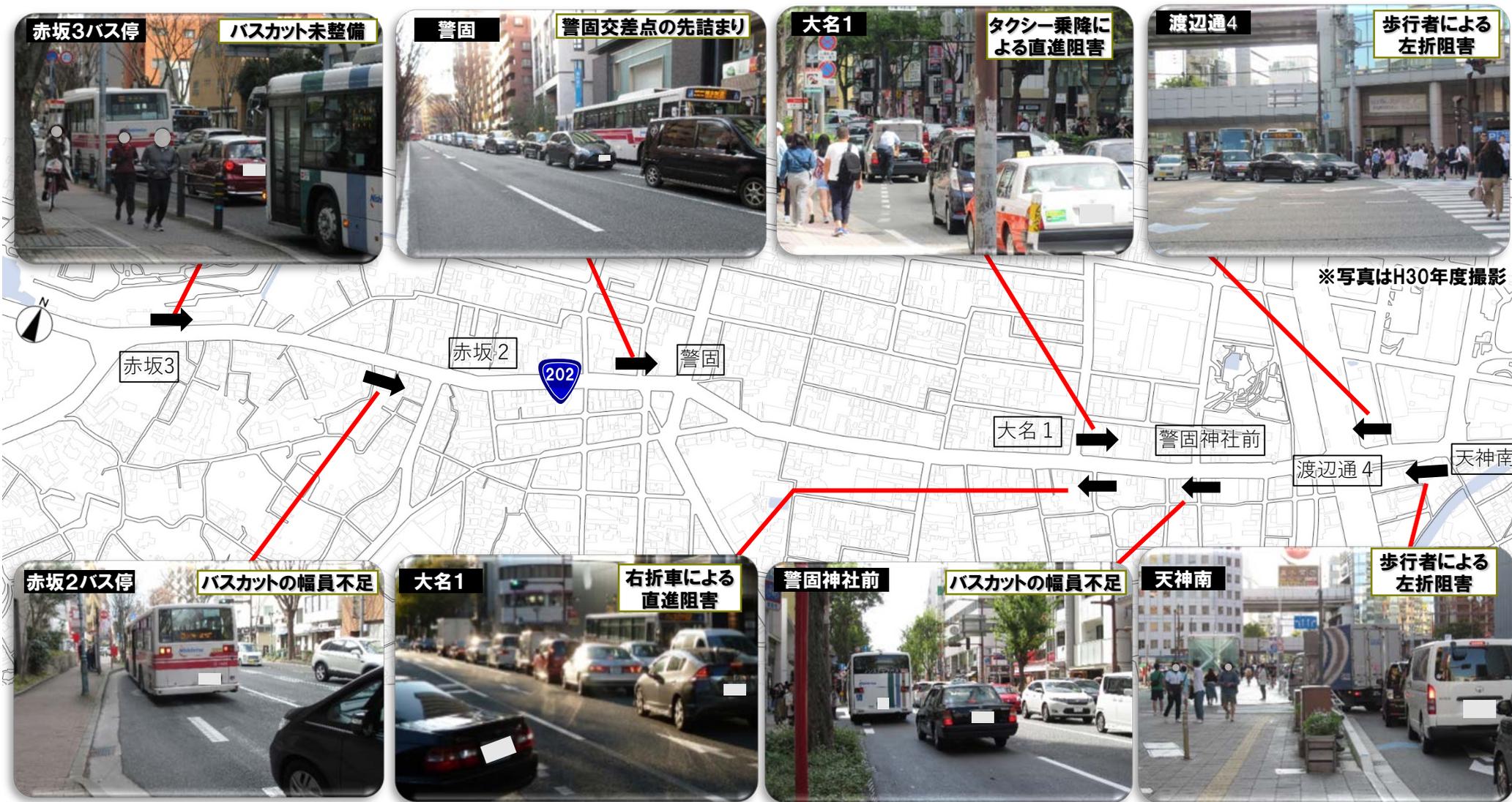
- 狭い車道空間にバスケットが無いバス停での停車、右折車線がない交差点での右折車両の停車、左折車の歩行者横断待ちによる交通阻害、車道での商用車荷捌き停車など、多様な交通阻害要因により昼夜・季節を問わず飽和状態。



## 2. 交通現況・課題 (2) 国体道路の自動車交通現況

### ③ 国体道路の交通状況〔天神南～赤坂3〕 その他の検討区間

- 渡辺通4、警固交差点を先頭に渋滞が顕著。
- また、バスカットの幅員不足やバスカットがないバス停でのバス停車が多く、渡辺通4、天神南交差点では、横断歩行者による左折阻害が見られる。

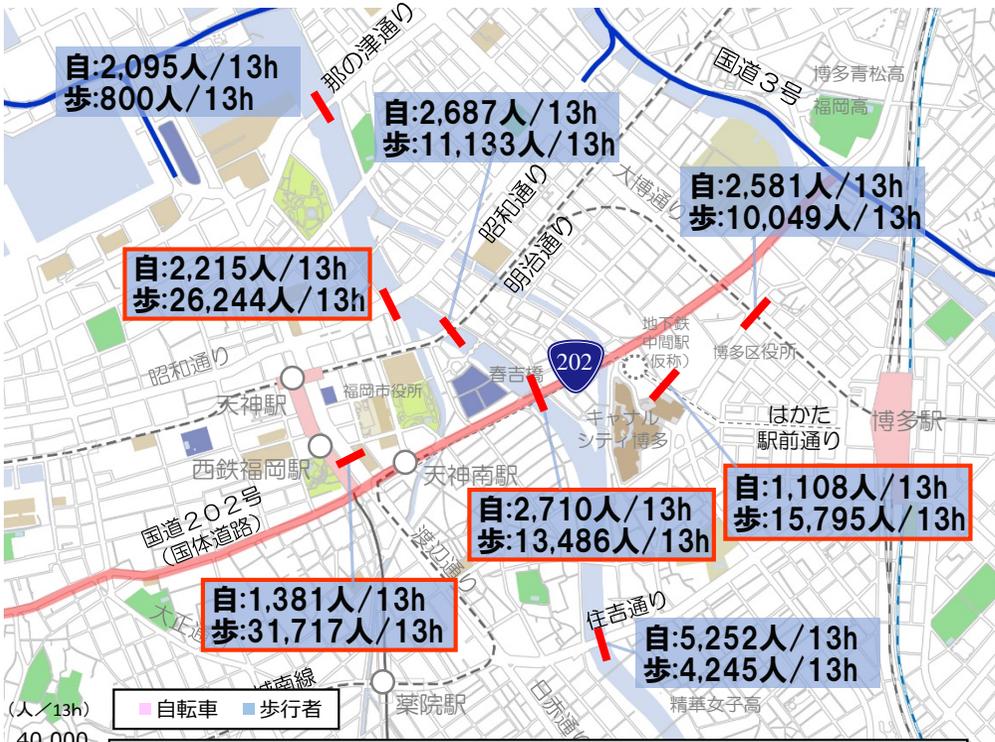


# 2. 交通現況・課題 (3) 周辺道路の歩行者・自転車交通状況

## ① 歩行者・自転車通行量、歩道幅員

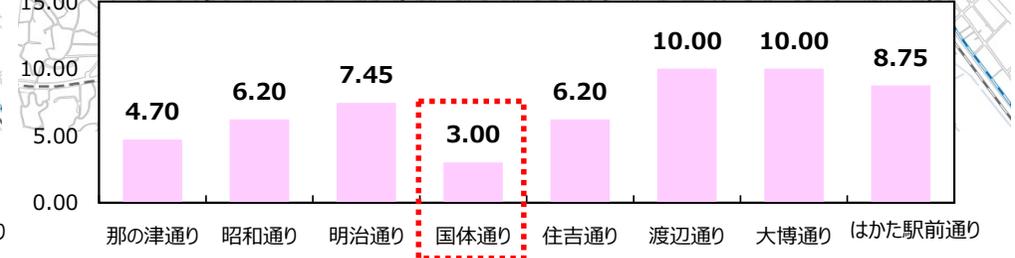
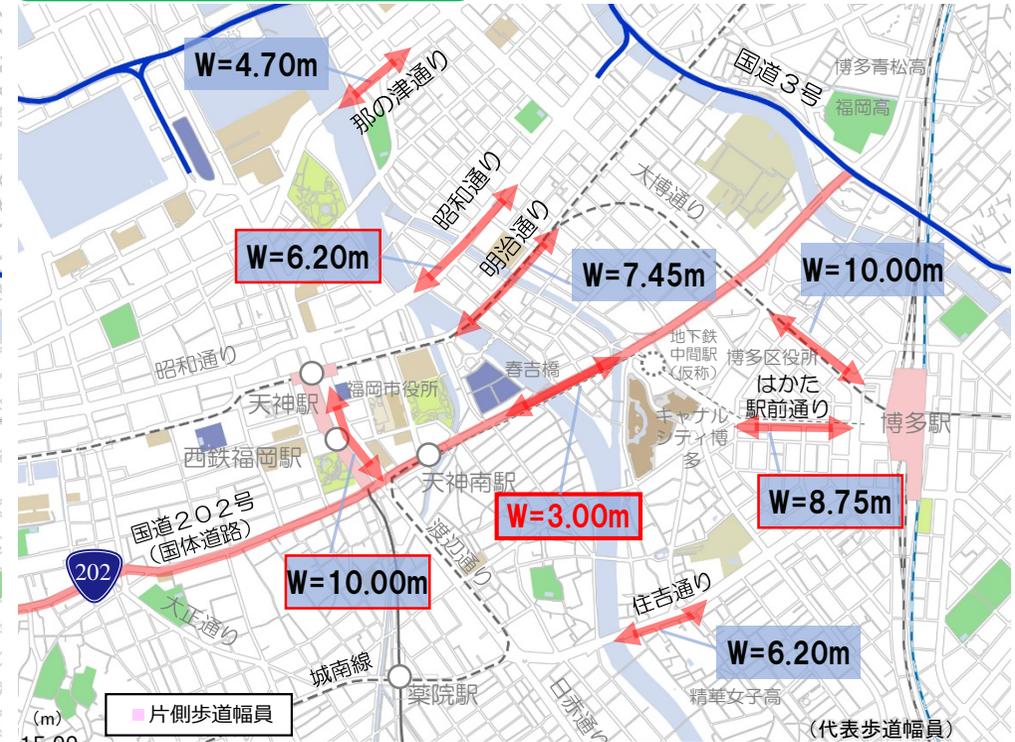
● 都心部の幹線道路における歩行者・自転車通行量は、**渡辺通、昭和通り、はかた駅前通り、国道道路**などで特に多い。  
 ● 一方で、これら歩行者の多い道路の歩道幅員は、約6~10m確保されているものの、**国道道路**は3m程度と極端に狭い。

### 歩行者・自転車通行量



▲周辺道路の自転車・歩行者通行量 出典: H29福岡市都心部歩行者・自転車交通量調査 (7:00~20:00)

### 歩道幅員



▲周辺道路の片側歩道幅員 出典: 全国道路・街路交通情勢調査H27

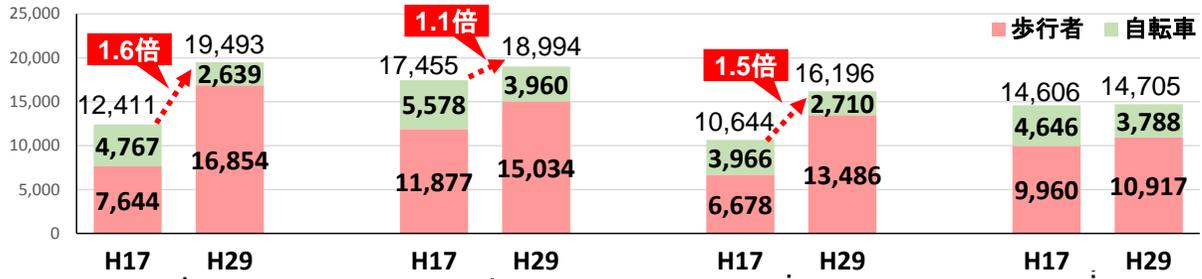
# 2. 交通現況・課題 (4) 国体道路の歩行者・自転車交通状況

## ① 国体道路の歩行者・自転車交通の課題

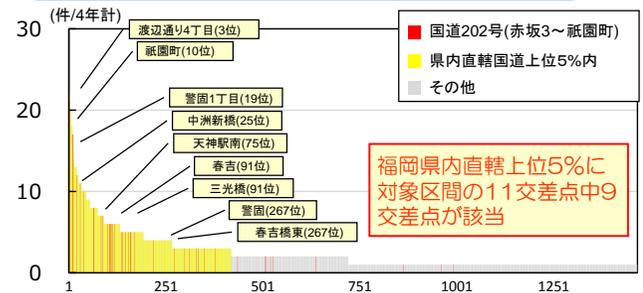
- 国体道路の歩行者・自転車は増加傾向にあり、約1.5~2万人/13h前後が通行しているが、歩道幅員の不足のため、歩行者と自転車が錯綜。
- このため、歩行者・自転車の事故件数が福岡県内の直轄国道上位5%以上の中に、対象区間11交差点中9箇所が該当。
- 更に、1km当たりの歩行者、自転車の事故件数は伴に県平均の約9倍と歩行者・自転車の安全性が著しく低い。

交通量

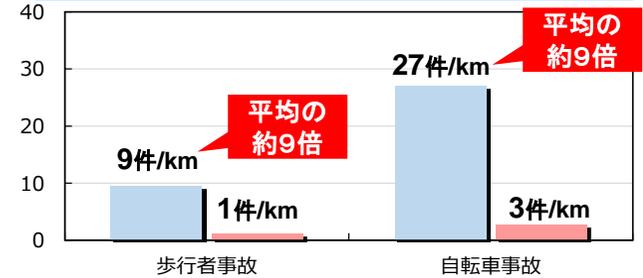
平日13時間通行量(人/13h) (出典：福岡市通行量調査(H17、H29年度歩行者・自転車))



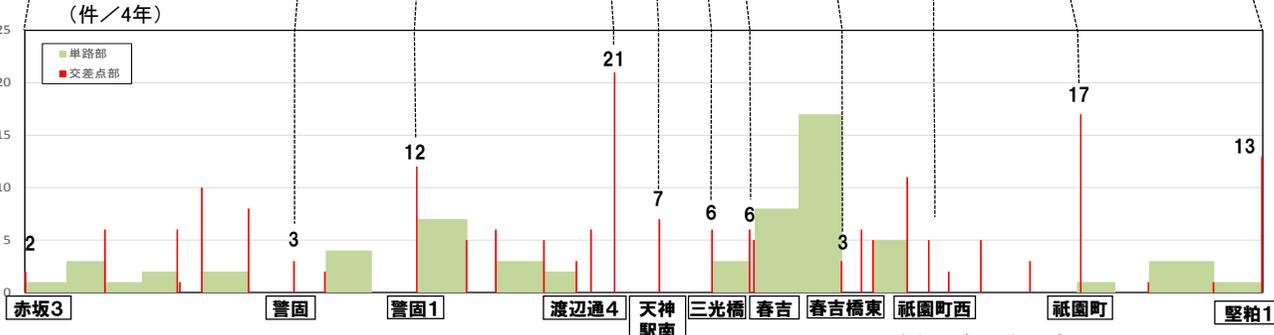
### ● 歩行者・自転車事故件数



### ● kmあたり歩行者、自転車事故発生件数



歩行者・自転車事故件数



(資料：事故統合データベース (H25~28))



▲ 歩道での歩行者と自転車の錯綜

資料：事故統合データベース (H25-H28)

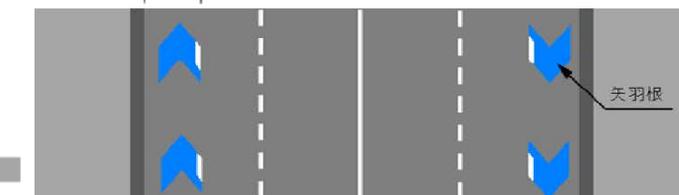
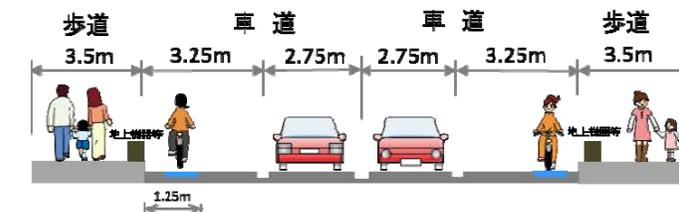
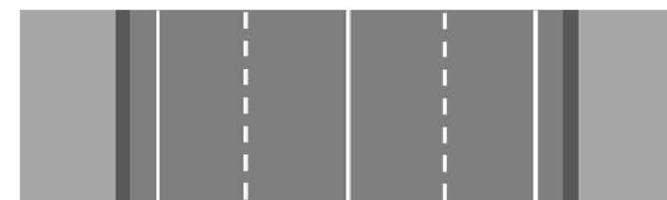
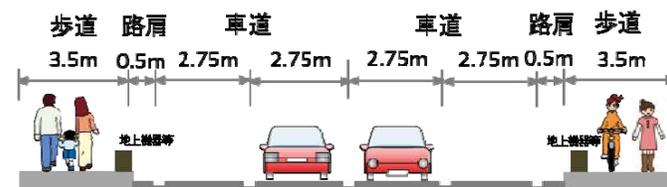
## 2. 交通現況・課題 (4) 国体道路の歩行者・自転車交通状況

### ② 国体道路の自転車走行空間の確保の取組み

- 国体道路(祇園町西～赤坂3)は、**福岡市自転車通行空間ネットワーク整備計画(H26.3)**で調査路線に位置づけられており、安全な自転車通行空間の確保が望まれる。
- このため、国体道路(祇園町西～赤坂3)は幹線機能を重視した直轄国道として、車道4車線を確保した**第1通行帯左側に自転車通行部分を明示する法定外表示(矢羽根W=1.0m)**を以下の区間で整備を推進中。



▲ 矢羽根利用状況



▲ 矢羽根設置



▲ 警固1丁目バス停付近

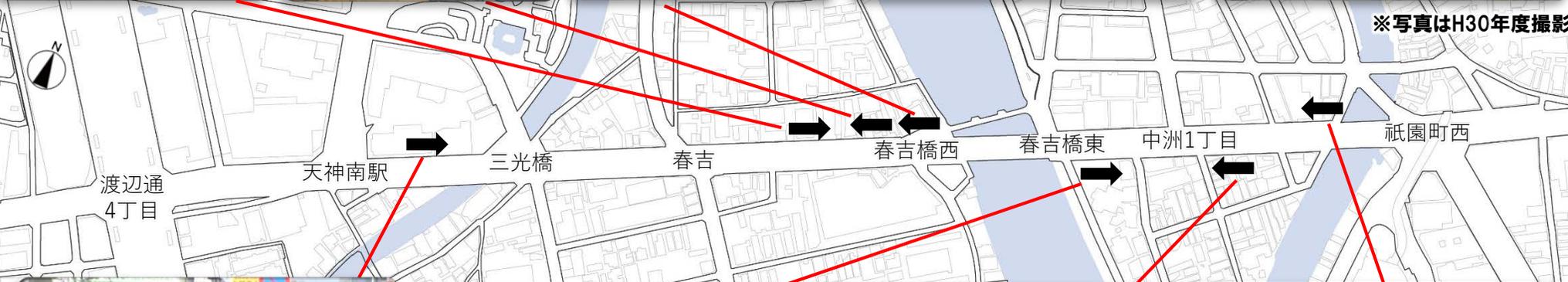


▲ バス停付近

# 2. 交通現況・課題 (5) 国体道路の歩行空間の状況

## ① 国体道路の景観状況 [ 祇園町西～渡辺通4 ] 優先検討区間

- 国体道路は福岡の顔となる目抜通りの一つであるが、歩行空間は不法占有物(看板、のぼり、灰皿等)、植栽柵はベンチやごみ置き場として使用され都心の顔としての景観が悪化している。
- また、若者や高齢者など多様な利用者がある中で、歩道舗装は凹凸や傾斜、点字ブロックの劣化など、歩行の快適性が阻害されている。
- 更に、歩道舗装や道路施設などの景観的な統一性がなく、都市の魅力が低下している。



## 2. 交通現況・課題 (5) 国体道路の歩行空間の状況

### ② 国体道路の通行状況〔祇園町西～春吉〕 優先検討区間

- 歩行者と自転車が分離されていない春吉橋付近以東区間は、狭い歩行空間に歩行者と自転車が錯綜。
- 更に、植栽樹や道路施設物、違法駐輪により歩道空間が減少し、快適な歩行を著しく阻害。



※写真はH30年度撮影



## 2. 交通現況・課題 (5) 国体道路の歩行空間の状況

### ③ 国体道路の通行状況〔春吉～渡辺通4〕 優先検討区間

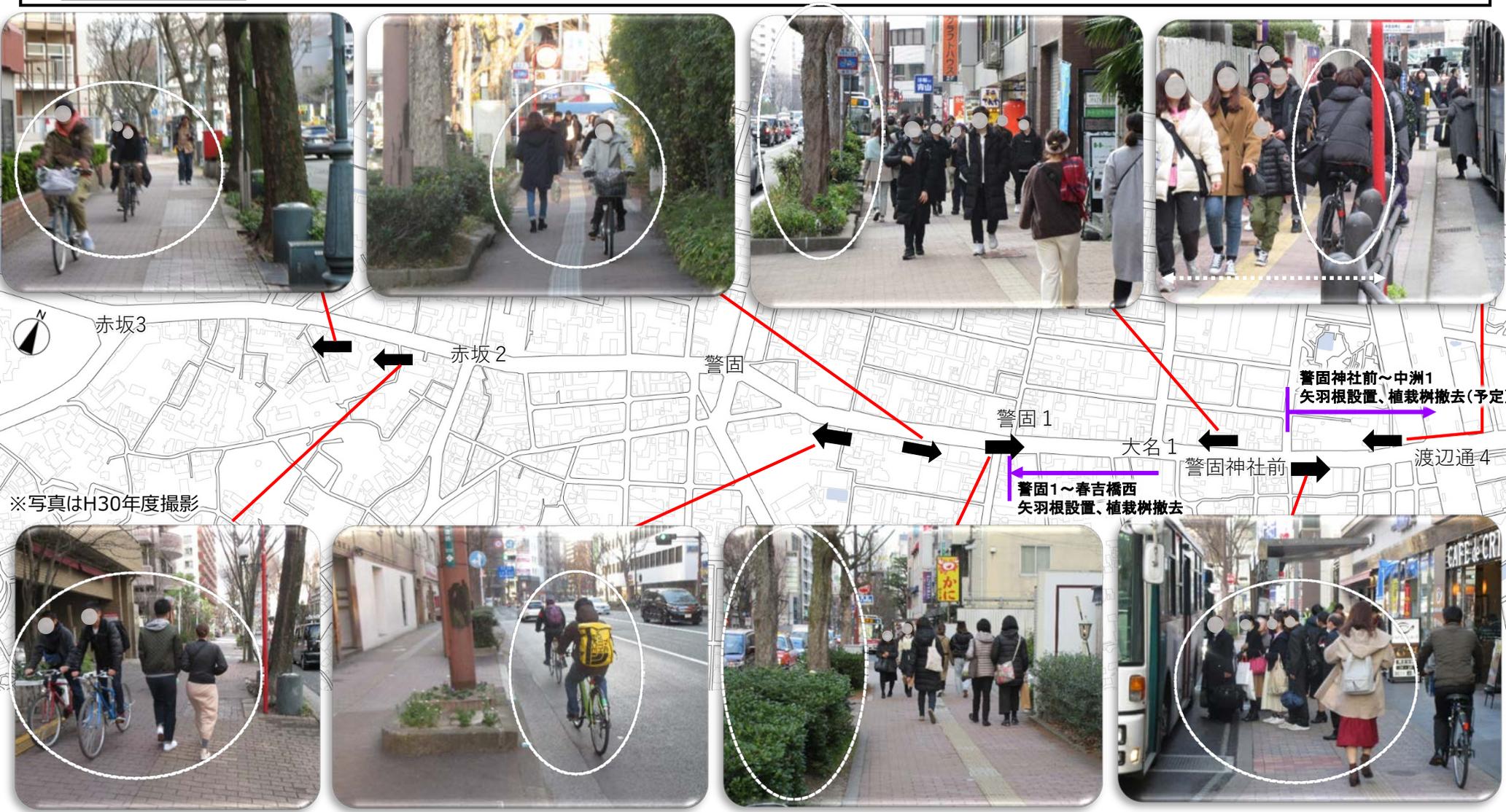
- 矢羽根の設置と植栽帯撤去した「渡辺通4～春吉区間」においては、自転車と歩行者の錯綜は改善。
- 但し、バス待ち客のバス停への集中や、道路施設物による歩道幅員減少により、依然として快適な歩行を阻害している箇所も多い。



## 2. 交通現況・課題 (5) 国体道路の歩行空間の状況

### ④ 国体道路の通行状況〔渡辺通4～赤坂3〕 その他の検討区間

- 渡辺通4～警固1間北側は、バス待ち客のバス停への集中、バスカット設置、及び植栽樹設置による歩道空間の減少により快適な歩行を阻害。
- 警固1～赤坂3区間(けやき通り)は、植栽樹により歩道空間が縮小。また、歩行者と自転車が分離されていないため歩行者と自転車の錯綜や車道での自転車走行が多くみられる。

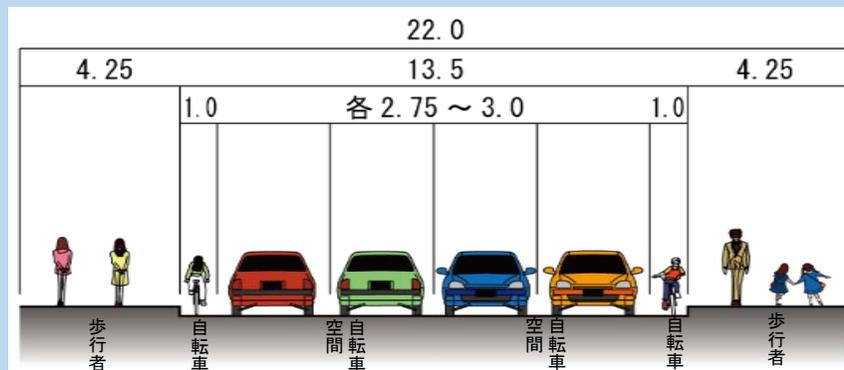


# 3. 国体道路の自動車空間、歩行者空間の課題まとめ

現況

## <中洲1丁目～渡辺通4>

・矢羽根を設置し歩行者と自転車を分離



## <祇園町西～中洲1丁目>

・狭い歩道空間に植栽帯がさらに空間を圧迫



課題

自動車空間

- 狭い車道空間にバス(約1,100台/日)、タクシー(約4,900台/日)、商用車等、多様な交通が混在
- 約3万台/日の交通が集中し、混雑度は1.7~1.8と都心部の周辺道路の中でも特に高く、昼夜・季節を問わず飽和状態
- 死傷事故率は県内直轄平均の約4倍と安全性も大きく低下

人・自転車空間

- 植栽柵や道路施設物により、歩行空間が更に縮小し歩行者が錯綜
- 矢羽根が設置されていない祇園町西～春吉橋は狭い歩行空間に歩行者と自転車が集中し錯綜
- 歩行者と自転車関連の事故は、県内直轄平均の約9倍発生し、安全性・快適性が著しく低下



方向性

人・自転車・車が安全・安心・快適に共存できる道路空間の再編

# 4. 今後の空間再編の検討方針(案)

調査

第2回

第3回

第4回

## 1. 国体道路の意向とニーズ

### ①利用者の意向からみた課題把握

- ・道路利用者（歩行者、車、バス、タクシー等）が抱える国体道路の課題とニーズ

### ②まちづくり上の課題把握

- －歩行空間の質的課題（一貫性の無い歩道舗装、違法駐輪、点字ブロック、柵等）
- －沿道環境の課題（放置ゴミ、違法看板やのぼり等）
- －改善事例の収集

### ③現況の道路交通課題把握

- 車**：都心部道路の交通実態や国体道路の利用特性（通過・発着OD）からみた課題
- 人**：歩行者量・ODからみた国体の利用特性、歩行空間のサービス性からみた課題
- バス**：バス停車（バスカットなし）等による課題

## 2. 国体道路の利活用方針の立案

### ①国体道路の整備方針原案

- －国体道路の整備コンセプト、及び導入機能（案）の立案
- －国体道路に必要な機能を踏まえた道路空間再編案の検討

### ②対策案の課題把握

- ・道路空間再編実施後の自動車、歩行者交通処理面の課題と効果の分析

・優先検討区間以外に及ぶ対策は議論の枠組みを含め別途検討

## 3. 国体道路の空間再編に向けた検討

### ①アンケート調査の実施

- ・道路空間再編案に対する地域ニーズを検証するアンケート調査手法の検討、実施

### ②対策案の評価、概略設計

- ・交通シミュレーションとアンケート結果を踏まえた空間再編案の比較評価
- ・道路空間再編案の概略設計

## 4. 国体道路の景観検討

- ・国体道路に相応しい景観、歩道舗装、道路敷設物について検討

## 補足調査・手法

### ○意向調査

- ・歩行者・自転車聞き取り調査
- ・自動車利用者WEB調査
- ・バス事業者意向調査
- ・タクシー事業者意向調査
- ・地元住民意向調査

### ○交通実態調査、ITS分析

- 【車】**
  - ・主要交差点の交通量調査
  - ・ITSを活用した利用OD（通過・発着）分析
- 【人】**
  - ・歩行者通行量調査
  - ・歩行者への聞き取り調査によるOD分析

### ○対策案のシミュレーション

- ・国体道路や周辺道路への効果や影響、課題を定量的に分析するため、交通量推計や自動車・歩行者混在のマイクロシミュレーションを実施して検証

### ○アンケート調査

- ・道路空間再編案に対する意向や空間活用の利害関係を把握するアンケート調査（車、バス、タクシー、歩行者）

## 5. 意向調査、交通実態調査項目と内容

### 1. 意向調査項目

目的		調査	意向調査内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況課題の把握</li> <li>・歩道・自転車、車道空間の今後の整備ニーズ</li> <li>・矢羽根設置、植栽撤去後の効果・課題把握</li> <li>・意向を踏まえた対策方針</li> </ul>	一般車 バス タクシー	一般車利用者へのWEB調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞・事故、車道空間に対する意見</li> <li>・車道舗装の質、沿道環境に関する意見</li> <li>・矢羽根の設置に対する意見</li> </ul>
		バス事業者への意向調査	・バスカットへの意見、及び一般車利用者への意向調査内容
	タクシー事業者への意向調査	・タクシー待ちスペースへの意見、及び一般車への意向調査内容	
	歩行者 自転車	歩行者・自転車への意向調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道空間に対する意見</li> <li>・歩道舗装の質、沿道環境に関する意見</li> <li>・駐輪スペースへの意見</li> <li>・矢羽根設置、植栽撤去に対する意見</li> </ul>
	地域 住民	地元住民の意向調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観・まちづくりに関する意見</li> <li>・矢羽根設置、植栽撤去への意見</li> </ul>

### 2. 交通実態調査・分析項目

目的		調査	分析・検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況課題の把握</li> <li>・道路の利用特性</li> <li>・機能強化必要性の検討</li> <li>・対策の可能性検証</li> </ul>	一般車 バス タクシー	自動車（一般車、バス、タクシー）交通量調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区間別（主要交差点間）車道部混雑状況の把握</li> <li>・道路空間再編案実施後のマイクロシミュレーションによる検証</li> </ul>
		ITSデータの解析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通過・発着交通の把握による、長期対策（祇園町西～渡辺4）実施による並行道路（明治・昭和・住吉）への交通転換の可能性分析</li> </ul>
	歩行者 自転車	歩行者・自転車交通量調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区間別（主要交差点間）の歩行空間のキャパシティ、空間サービス水準</li> <li>・道路空間再編案実施後のマイクロシミュレーションによる検証</li> </ul>
		歩行者・自転車流動調査（意向調査）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国体道路の歩行利用区間、歩行者OD（どこからどこまで移動するか）を分析して祇園西～渡辺4間の歩行空間確保の必要性を検討</li> </ul>